

# 寺報

No.679

令和6年3月

蓮華寺  
發行

## 御聖訓

此土の我等衆生は五百塵點劫より已來、教主釈尊の愛子なり。

『法華取要鈔』



### (解説)

日蓮大聖人は「この世界に生きる我々は、はるか昔からお釈迦様が愛する子供達なのです。ですからお釈迦様は我が子の行く末を案じる両親のように、常に我々を見守り続けているのです。」と教えられました。

しかし、日々のニュースで報道される陰惨な事件はどうでしょう。

皆、己の幸せだけを追求し、他人を蹴落としている現状です。

戦争はなくならず、幼い子供達は親をなくし、飢え更に命も奪われています。

一体、どれだけの命を犠牲にすれば平和な世界が築かれるのでしょうか。

こういう己をかえりみない生き方をしていては、世の中は変わる事はないでしょう。

でも、我々には幸いな事に法華経・お題目の信仰があるのです。

どうか、お釈迦様の期待に<sup>こた</sup>えられるように、命を大切にしっかりと生きていこうではありませんか。

# 『春彼岸会』『星祭』

十七日(日)・二十日(水)・二十三日(土)

水 行・・・昼十二時半

大本堂前

法 要・・・午後一時

大本堂

法 話・・・約十分間

番 当 話 法		
十七日	加藤上人	
二十日	對馬上人	
二十三日	住職上人	



④『春彼岸会』と『星祭』の法要は三日間ですが、先祖供養は、残り四日間『朝のお勤め』の中で読み上げさせて戴きますので、ご安心下さい。  
なお、合わせて星(劍守札)もご祈祷します。

## 法要次第

- 一、勸 請(導師が唱えます)
- 一、開 經偈(無上甚深微妙の)
- 一、お 經(漢字読み)

〔序品第一〕方便品第二〕如来寿量品第十六  
〔自我偈〕〕如来神力品第二十一〕觀世音菩薩普門品第二十五〕咒陀羅

- 一、御 祈 禱(法樂加持)
- 一、御 妙 判(如説修行鈔)
- 一、お 題 目(南無妙法蓮華經)
- 一、宝 塔 偈(此經難持)
- 一、星 祭 祈 願(導師が唱えます)
- 一、お 經(自我偈・漢字読み)
- 一、お 題 目(南無妙法蓮華經・僧侶は供養の読上)
- 一、彼 岸 回 向(導師が唱えます)
- 一、四 誓(衆生無辺誓願度)
- 一、お 題 目 三 唱

〔法 話・・・約十分間〕

以上

④ご祈祷のお経は速く読みますので、ご了承下さい。

## お寺からのお知らせ

### \*先祖供養(一週間)・・・八百円

お彼岸の先祖供養は、お彼岸前に申し込みますと、一週間、またその後に申し込んだものでも、「彼岸明け」まで供養を続けさせて戴きます。  
どうか、ご供養は出来るだけ、お彼岸前日迄にお申し込み下さい。

### \*追 膳(一週間)・・・三千五百円

お彼岸の追膳は『位牌堂』、三階『永代供養堂』、また、お預かりの『お骨』に一週間上がります。  
「彼岸入り」以降のお申し込みも受け付けますが、期間中、一日だけという(特定の日)の受付はしておりませんので、ご了承下さい。  
また、追膳は数に限りがありますので、お早目にお申し込み下さい。

### \*劍 守 札(星)【二体・二百円】

④星(劍守札)のお申し込みは、専用の申込書にお名前と性別・生年月日をお書きの上、お早目にお申し込み下さい。なお、宗派は問いません。

## 「星」(劍守札)を 申し込みましょう!

当山では『星祭』の期間中、一週間、皆様のご家族のお名前と性別・数え年を記入しました「星」(劍守札)をお祀りして、その年の善星が皆来し、悪星が退散し、一年間無事安泰でありますようにと祈願します。  
その為に、当山僧侶が、十七日の彼岸の入り・二十日の中日・二十三日の明けの三日間、水行をし心身を清めてから、ご祈祷をします。

「星」はいわゆる「日曜星」土曜星の七曜星に、太陽と月をささげる「羅喉星」、彗星である「計都星」を加えました『九曜星』を、皆様の年令と性別によって配当していきます。

それで、我々はその年の自分の運勢を知り、これを元に行動し、更に法華經・お題目の信仰を持つ事によって、より一層安心した人生を送れるのです。

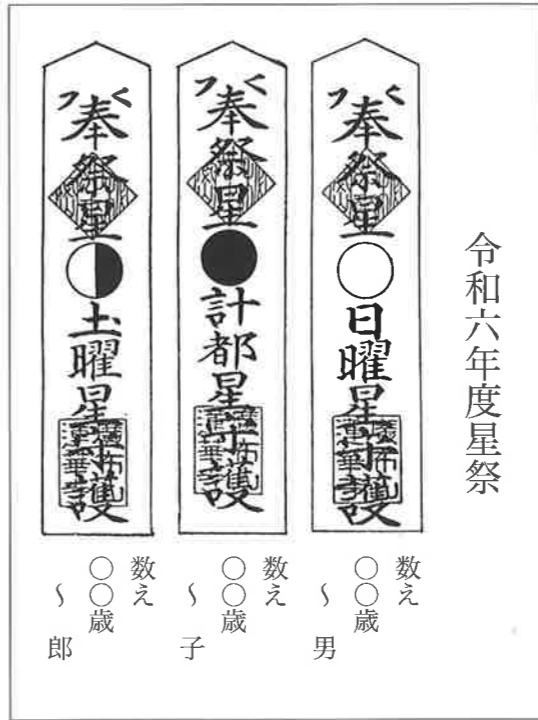
どうか、檀信徒の皆様は是非とも毎年この「星」(劍守札)をお申し込みになりますようにお願いします。  
また、今までお申し込みしていなかった方も、今年よりよろしく願います。

### 星（劍守札）のまつり方

お寺より【星】を戴きましたら、そのままにして置かないで、必ず厚紙に貼り、各自の数え年と名前を書き、自宅の御寶前か仏壇の下の方にお祀りして、毎朝拝むようにして下さい。

また、昔より仏間のカモイに貼る家庭もあります。とにかく、一年間大事にお祀りする事が大事です。

#### 令和六年度星祭



※なお、五枚まで貼れる専用の台紙も、事務所にて販売しております。

### お彼岸の意義

お彼岸の一週間は、皆様がご先祖様を敬い、亡き人に供養の誠をささげると共に、自分自らが懺悔滅罪し善根を積み、仏道に精進する期間であるという事を忘れてはいけません。

日蓮宗でいいます「彼岸」とは、他宗のように遙か彼方にある【浄土】を求める事ではなく、我々が住むこの現実の世界を幸福と喜びのあふれた【浄土】にしていく事であります。

人は、悩みを離れて悟りを得る事は出来ません。現実に悩み苦しむ毎日の生活の中で、常に仏様の教えに従い、仏様に生かされながら生きているという感謝の念を持って精進していかなければならないのです。当山の『春彼岸会』には『星祭』の行事も合わせて行います。

皆様もこの点を踏まえまして、一週間の内、法要は三日間ですので、どうかお寺に足を運び、一緒に法華経・お題目の修行をしようではありませんか。頑張りましょう。

### 三月十三日（水）

#### 午後一時より

場所…大本堂

## えはんねんしゃく 会 槃涅尊釈



\*お釈迦様が亡くなられました、祥月命日の日です。  
\*十三日のお勤めの中で、一緒に執り行います。  
\*お釈迦様へのお供物もお受け致します。

### 『靈断』

檀信徒の皆様で、何か困り事や悩み事がありましたら迷わず蓮華寺までご相談下さい。

日蓮宗に伝わる秘法『九識靈断法』にて、当山僧侶が解決、ご指導します。

なお、宗旨宗派は問いません。

必ずご予約下さい。(☎七七六一五八四〇)まで  
【一件…三千元となります】

### 『聖徒団会員』募集！

毎月ついでに「盛運祈願会」の中で、当山住職が各会員の『家内安全』をご祈願致します。

その他、大本堂御寶前のお花、皆様にお配りする新聞『聖徒タイムズ』・寺報等の援助などに活用します。会費・・・年額二、四〇〇円（月二百円）

### 『提灯』募集！

当山で『お正月』『鬼子母神大祭』『御会式』に下げます『提灯』（トローラー）を募集しています。

作成価格は八千円、年間の管理費が二千円ですので、初年度は一万円となります。

### 三月の行事

- 一日(金) 盛運祈願会 午後一時より  
・お守り【霊神符】の交換の日です。  
・自ら進んでお勤めに参加し、お経を唱えましょう。  
・聖典(お経本)と数珠は必ずご持参下さい。  
・蓮華寺檀信徒の方は、必ず【霊神符】をお持ち下さるようお願い致します。



- 一日(金) 甲子きのえね【大黒様の日】 朝のお勤め中
- 八日(金) 鬼子母神小祭 朝のお勤め中
- 十三日(水) 日蓮大聖人のご命日 午後一時より  
・お経 如来神力品第二十一(訓読・日本語読み)  
如来寿量品第十六 (真読・漢字読み)  
・皆様も日蓮大聖人さまの御報恩を忘れずに参拝し一緒にお経・お題目を唱えましょう。
- 十三日(水) 釈尊涅槃会 午後一時より  
・十三日のお勤めの中で執り行います。

『春彼岸会』・『星祭』【三日間】  
十七日(日)・二十日(水)・二十三日(土)  
【水行】 昼〇時半より  
【法要】 午後一時より

### ☆奉仕のお知らせ

十五日(金) 星祭の準備 男女共・午前十時より  
\*星祭の祭壇、水行等の準備  
十七日(日) 【彼岸入り】 男女共・午前十時より  
二十日(水) 【彼岸中日】 男女共・午前十時より  
二十三日(土) 【彼岸明け】 男女共・午前十時より

④『春彼岸会・星祭』の行事は三日間ですので、ご奉仕とご参拝は日程・時間をお確かめの上、お願いします。  
また「水行」のお手伝いは、人手が沢山必要ですので、一日でも多くご奉仕下さい。  
特に二十三日(土)は星祭のお札を渡す日ですので是非ともご協力をよろしくお願いします。  
部員以外の檀信徒のお手伝いも大歓迎致します。

### ☆『春彼岸会の追膳』

十七日(日)～二十三日(土)まで一週間  
『お彼岸の追膳』のお手伝いは一週間、朝【午前六時～七時半頃迄】夕【午後三時～五時頃迄】です。でお手伝い出来ます方は時間までご集合下さい。  
④お手伝い希望の方は、教宣部員以外でも歓迎しますので、どうぞ時間までご集合下さい。

◎教宣部長 杉淵昌三

### ☆『永代供養塔』のご供養

境内に安置しています『永代供養塔・水子観音像・動物供養塔』の(彼岸供養)は、三月二十日(水)の午前十時三十分より、住職上人がまず大本堂にてご回向し、その後境内地の各塔でご供養します。ので、ご一緒に参拝出来る方は、時間までにお越し下さい。  
時間は約三十分くらいです。

☆三月まで、檀信徒研修会  
はお休みです。

### 「寒修行」終了す

本年、一月十六日から二十四日までの九日間に渡り行われました「寒修行」は、皆様のご協力により無事終了する事が出来ました。  
お寺の事情により九日間の修行となりましたが、皆様頑張つて参加してくれました。  
今般も僧俗一体となり一心に修行しているお姿は、正に異体同心、ご本仏様そのもののお姿でした。  
どうか来年度も参加をよろしく願います。  
参加された方は、ご修行ご苦労様でした。

### お知らせ

☆『声に出して読みたい』

日蓮大聖人のお言葉

―御一代記・解説付―

一、二〇〇円  
(限定販売)

☆『日蓮宗朝夕のおつとめ』

―解説付―

一、二〇〇円

(注)いずれも事務所にて販売中

# 『春彼岸会』 『星 祭』

## 三月

### 十七日(日)・二十日(水)

### 二十三日(土) の三日間

水 行 . . . . . 昼十二時半より 大本堂前

\* 檀信徒の皆様への応援をよろしくお願いします。



妙見菩薩



水 行

法 要 . . . . . 午後一時より 大本堂

法 話 . . . . . 約十分間 法要終了後

(先祖供養、追膳、星【剣守札】、供物は受付中)

\* 『水行』『法要』は彼岸の入り・中日・明けの三日間ですので、檀信徒の皆様もご注意の上、ご参拝下さい。なお、ご供養は残り四日間「朝のお勤め」の中でご回向します。